

石川県教育支援センター

やすらぎ加賀通信



第122号 2018/6/28

ブログ更新中 見てね!

梅雨とは言いつつも、今年はあまり雨が降っていませんね。その代わりに、早々に厳しい暑さが続いて大変ですが、皆さん体調は大丈夫でしょうか？

やすらぎ加賀教室は4月から新しい環境のもと、色々な相談をお受けしています。学校、家庭に続く第三の居場所として、皆さんをお迎えしますので遠慮なくお訪ね下さい。

土田先生 (心理カウンセラー) の相談日

7月 6日(金)、13(金)

9月 7日(金)、14(金)、21(金)

時間：9:30～11:30

場所：やすらぎ加賀教室

※相談ご希望の方は、予約をお願いします。

☎ 72-3220



	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
4月	2	15	2	19	0
5月	4	4	1	9	0
6月	8	5	5	18	0

6月は28日現在

第1回 事例検討会を行いました

6月22日(金) 15:30～16:50 於 加賀市教育総合支援センター

今年度第1回目は、講師の金沢大学准教授の原田克巳先生をはじめとし、加賀市内の小・中・高・特別支援学校、関係機関等から23名の参加をいただき、活発な質問・意見交換が行われました。今年度初顔合わせであり、まず自己紹介や簡単な情報交換を行い、その後PCAGIP法による事例検討を行いました。初めてPCAGIP法に参加する方にやや戸惑いもありましたが、次第に参加者の質問が、事例報告者の気づきに優しく迫っていく実感が会場に漂い始めました。今回は、授業中に他の生徒たちからかわれたことから、「自分への視線に耐えられない、周囲の視線や言葉全てが自分に向けられているように感じてしんどい」と訴える生徒の事例でした。支援のアイデアについては、

- ・「本人の思い込み」なのかしっかりと確認すべき。もし、そのような状況がないとしたら、本人は気持ちを強く持つべきで、他の生徒達と歩み寄ることができない。
- ・「本人の思い」をどう受け止め、どう対応すべきか。「本人の思い」は主観であり、本人にとっては「事実」であるので、先ず共感し受け止めてから状況を整理してあげると良い。話すだけでなく、文字や4コマ漫画などで表現させると良い。落ち着いた中で客観的に分析して、共に凌ぎ方を考えると良い。
- ・その相手と接する場面を少なくする。相談室との関係を大切にす。
しんどくならないような想像をする、つまり認知の仕方を変えるとよい。
- ・授業では発表する場面などで配慮できるよう教科担任の情報交換や連携も大切。

最後に原田先生からは、

本人が主観的にそう思っていることは事実で、それを分かってもらえないということになり、相談しなくなりしんどさ



を自分だけで抱えてゆくことになるので、しっかりと受け止めてから、「でもね・・・」と訊いてあげる。想像の産物と思うことができるようになる。結局「それで損をすることが無いような想像の仕方をやってみると良いね・・・」と、本人が納得感を持てるように、担任・SCなども関与していくと「信頼性が増す」ので本人もそのように思うようになる。いろいろな考え方があるな、と思ってもらえるようになる。周囲の生徒に(このように)関わっている私の人生しょうもないな、と思えると良いとの助言がありました。
*参加された皆さん、ありがとうございました。

新教室のご案内

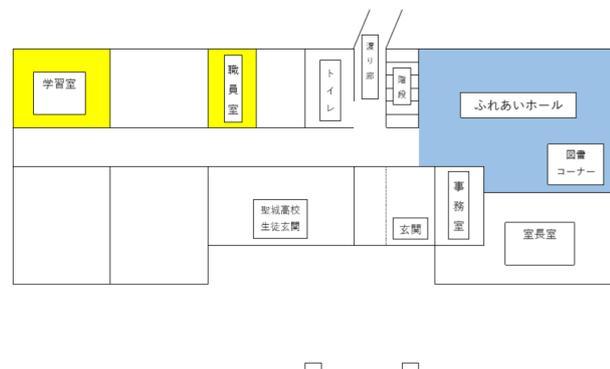
かねてよりお知らせしましたように、4月より石川県立加賀聖城高校内に移転しました。教室の様子を紹介します。



以前の表札をそのまま職員室前に掲示



学習コーナー



聖城高校1階、玄関入って左手にあります



ふれあいホールには読書コーナーもあり、ゆっくりできます



面談コーナー

やすらぎ菜園

菜園も、新たに校庭の一角やテニスコート横に設けました。



トマトはまだまだ青いですが、たわわに実っています。なす、ピーマン、キュウリはもう収穫できそう！

その他に、落花生や枝豆、サツマイモなども植えました。

